

すすむ下水道事業



排水管2万本を すでに埋設

快適な生活環境づくりをしようと、富士市は下水道事業を急ピッチで進めています。

下水道事業は、吉原地区は昭和34年から、富士地区は昭和39年からそれぞれ工事に着手し、吉原地区ではすでに使用を開始しています。

吉原地区は、昨年までに工費1億4,443万円を投じ、排水管2万本を埋管しました。これで処理区域は88ヘクタールになり、約2,900世帯の人が使用できるようになりました。しかし、実際に使用しているのはわずかに1,300世帯の人にすぎず、せっかくの施設も利用されていません。そのうえ、下水道事業は本質的には独立採算を立前としていますので、1人でも多くの人が入ることによって、施設も早くできます。ですから、使用できる区域の人は1日も早く利用の手続きをしてほしいものです。なお、本年度は2,200万円を投じ、排水管1,440本を埋管します。

終末処理場は、昭和35年から爪島（日産南側）に建設をはじめ、42年に完成しました。工費は2億1,683万円で、2万4,000人分の処理ができます。

富士地区については、昭和39年から工事に着手しましたが、現在は主要幹線排

水路の埋管を行なっています。昨年までに1.65本の排水管を767本を埋管し、本年度も工費1,500万円で、250本を埋管します。なお、このほか終末処理場用地16,600平方本を購入しました。

吉原地区の処理区域内の人で、排水施設を取り付ける場合は、融資制度（5万円以下で30ヵ月償還。利息は日歩1銭8厘）がありますので利用してください。

その場合、工事にかかるまえに必ず市下水道課（吉原事務所）へ届け出をしてください。

【工事中】埋管工事にご協力を

本年度も吉原地区で次のように埋管工事を行なっています。工事中は片側通行や通行禁止などの交通規制が行なわれますが、みなさんのご協力をお願いします。

■工事場所
伝馬町、西仲町、和田町1、2、鍛冶



町1、吉原仲町1、田宿、富士見町、
■工事期間

- 第1工区 44年1月26日まで
- 第2工区 44年1月4日まで
- 第3工区 44年1月7日まで
- 第4工区 44年1月14日まで
- 第5工区 44年1月16日まで

私も一言……

“山いも”の穴は
必ず埋めて……

—山林所有者

野山が紅葉しはじめると、秋の名物“山いも”堀りに出かける人も多いと思います。

私たち山林所有者が、いつも山に

行って気がつくことは、立木の根本などに、大きな深い穴が掘ってあることです。これは、山いもを堀った人が、穴を埋めずに帰ってしまうからだと思います。

穴を堀りっぱなしにしておくことは、木の成長に害があるばかりではなく、落し穴にもなり大変危険です。他人の山で山いも堀ったら、穴を

埋めていくということは常識ではないでしょうか。

山いもを堀りに行ったら、他人の迷惑にならないように、自分で堀った穴は責任をもって埋めていってください。

なお、みなさんが山に行ったときは火の始末に、くれぐれも注意してくださるようお願いいたします。